

肌荒れを防ぐ



ヘパリン類似物質配合 クリーム

医薬部外品承認済みのクリームご紹介



医薬部外品のクリームは、
製品化まで通常1～2年の時間を要します。
このクリームは既に承認済みの処方なので
スピーディーに進めることができます。

有効成分

① ヘパリン類似物質とは

人の肝臓で生成される糖類の一種「ヘパリン」に似た成分です。
親水基を多く持ち、保水と抗炎症の有効成分にあたります。

乾燥対策

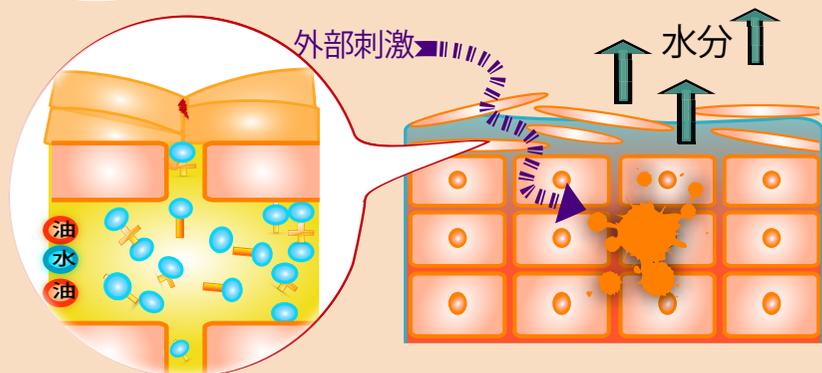
- ★保湿
- ★保水

抗炎症

- ★ヒビ ★荒れ性
- ★アカギレを防ぐ

皮膚内構造を再建築

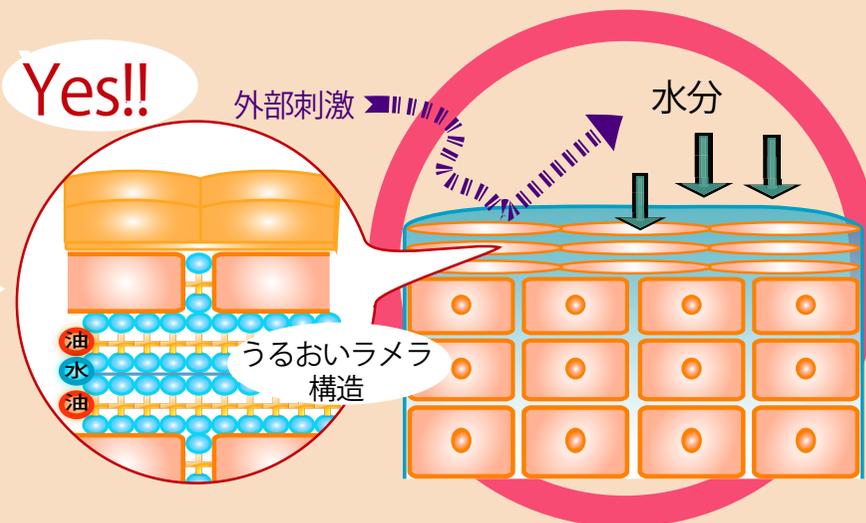
No!!



角質層が乱れている時は肌が荒れている状態です。
更にこの状態はバリア機能が弱まっているので
乾燥を繰り返したり、新たな肌荒れを引き起こしたりします。

ヘパリン類似物質配合
クリーム塗布

Yes!!



対して、ヘパリン類似物質は保水性に優れているため、
お肌に水分を引き寄せてぎゅっと抱え込み、乱れた角質層をもしっとり立て直します。

保湿 ≡ 角質層を整える ≡ 皮膚バリア

この処方に次の成分は含まれていません。

鉱物油・合成香料・合成着色料・エタノール・パラベン

詳しい内容は営業からご提案いたします。ご興味のある方は是非お問い合わせ下さい。